

北区の未来を 語るつどい

2024年(令和6年)2月24日
(於:ありまホール)



第1部

- ① 開会の演奏
- ② 神戸市長式辞
- ③ 来賓あいさつ
- ④ 地域から未来へのメッセージ
・北区連合自治協議会
・北区連合婦人会
・北区の中学生より

第2部

- ⑤ トークセッション「地域・人・未来」

第3部

- ⑥ 小学生から大学生による演奏・演舞など
- ⑦ 閉会

北区役所・北神区役所では、区民イベントを皮切りに約1年間、北区制北区の未来を区民の皆さまと一緒に

の皆さまに改めて北区への愛着と誇りを感じていただけるよう、3月のオープニング50周年記念事業を実施してきました。記念事業の締めくくりとして、また、その後のに考える場として、「北区の未来を語るつどい」を開催。

Talk Session

トークセッション「地域・人・未来」

今後、北区が楽しくにぎわう「地域」で社会学者の松村さんを進行役に、北区

あり続けるには「人」がますます重要となります。コモンズ(人が集まる場所)を研究されている各地で活動する方々とともに北区の「未来」について意見交換。



有馬町自治協議会
吉田 佳展さん

有馬町自治協議会の会長を約10年務めている。一方で、有馬温泉で明治時代から続く土産物店「吉高屋」の5代目店主でもあり、地域活動、歴史調査を続けながら、有馬温泉の活性化にも取り組んでいる。



大沢町さとのくらしファーム
石田 綾子さん

2018年に夫と子ども2人の家族4人で北区大沢町の里山に移住。野菜や米を栽培し自給的な暮らしを実践しながら、地域の方々と里のめぐみをシェアする「さとのくらしfarm」を夫婦で展開している。



上谷上農村歌舞伎舞台保存会
中西 宏さん

県指定文化財である「上谷上農村歌舞伎舞台」保存会の代表。多角的な視点から舞台の活用にチャレンジしている。また、北区での農村歌舞伎の普及のために、役者としても稽古に動いている。



日々カフェ
島田 香里さん

小部小学校、小部中学校、兵庫商業高等学校と生まれも育ちも鈴蘭台。その生まれ育った鈴蘭台で「日々カフェ」を始めて10年目。誰でも気軽に立ち寄れる地域密着型の萬屋を目指して日々楽しく邁進中。



神戸デザインセンター
舟橋 健雄さん

神戸デザインセンター代表。西鈴蘭台在住で、2022年度は自治会長も務めていた。50周年記念事業の企画委員会の委員として、「きたくろす」の発案者となり、北区で活動する方々の交流を促す。



Facilitator
社会学者
(神戸市地域活性アドバイザー)
松村 淳さん

建築家やクリエイティブ活動をしている人々の研究を行う。クリエイティブ労働者と地域再生、地域創生への貢献、遊休不動産のリノベーションを通じた地域再生が近年の関心事である。

小学生から 大学生による 演奏・演舞など *Performance*



神戸市北区を中心に、学校や学年の枠を超えた小学生と一緒に活動している金管バンドです。合奏練習は週に1度2時間程度しかできません。限られた時間や環境の中ですが、地元で愛されるバンドを目指し、日々練習に励んでいます。



淡河地区の獅子舞は、室町時代から住民らが継承してきた市無形民俗文化財「南僧尾神楽獅子」です。淡河小学校では、2004年頃から地域の方の協力を得ながら、上級生から下級生へと代々受け継がれています。



1994年4月に「八多音頭後援会」として発足し、2024年で30周年。和太鼓の力強い音に魅せられた幅広い世代(小学生から成人まで)が集い、八多町の各種イベントやお祭り・文化祭、JAや近隣地区のイベントなどで迫力ある演奏を披露しています。



保育園、幼稚園・認定こども園における音楽表現や、小学校での音楽教育において、実践力・専門力のある優秀な保育士・教員を養成するとともに、より音楽に親しむための基礎的な能力と、感性豊かな音楽表現力の習得を目標としているゼミです。



音楽を通して、人として自分を高めること、そして互いを思いやる『愛のあるサウンド』を奏でることを大切にしています。少人数ですが、大きな心で精いっぱい演奏しています。第70回兵庫県吹奏楽コンクール神戸地区大会で、金賞と最優秀賞を受賞しました。